

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 木 2	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	言語と芸術 (日本の言語) Language and Art (Japanese Language)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人文・社会科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 担当教員:池田 幸恵 /Eメールアドレス: yu-ikeda@nagasaki-u.ac.jp /研究室: 環境科学部 412 /オフィスパワー: 木曜日・校時			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい:現代日本語に興味を持ち、日本語に関する理解を深める。 授業方法:毎回、出欠確認票兼質問用紙を配り、次週その質問に答える形で、講義を進める。視聴覚教材を使用する場合もある。 授業到達目標:敬語の正用・誤用が分かる。正しい日本語表記ができる。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 現代日本語に関する諸問題について、敬語・方言・表記などのテーマごとに考察する。 第1回 オリエンテーション 第2回 敬語に関する世論調査(1) 第3回 敬語に関する世論調査(2) 第4回 敬語の誤用 第5回 敬語のまとめ 第6回 方言(1) 方言の歴史 第7回 方言(2) 方言圏論 第8回 方言(3) 方言と共通語 第9回 方言(4) 長崎県の方言 第10回 方言(5) 方言研究の現状 第11回 日本語表記の諸問題(1) 現代仮名遣 第12回 日本語表記の諸問題(2) ローマ字表記 第13回 現代語の諸問題(1) 若者言葉 第14回 現代語の諸問題(2) 外来語 第15回 定期試験			
キーワード	日本語 敬語 方言		
教科書・教材・参考書	プリントを配布		
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加状況 30% 定期試験 70%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			